

Entry No : 61
Team Name : Re : Create



君の本当にしたいことがわかる

Ques Schedule

1 - 要旨

「過密さを減らす提案をするスケジュールアプリ」

人はデジタル化社会によって自分の時間の使い方を可視化し、効率的に使用するためにスケジュールアプリを使用します。しかし、いつの間にか時間に追われるようにスケジュールアプリを使ってしまっていないでしょうか？

そこで「Ques Schedule」では、スケジュールの定量分析や性格特性をすることによって、ユーザに合わせた予定の削除・追加の提案やシミュレーション・自動キャンセルなどを行ってくれます。

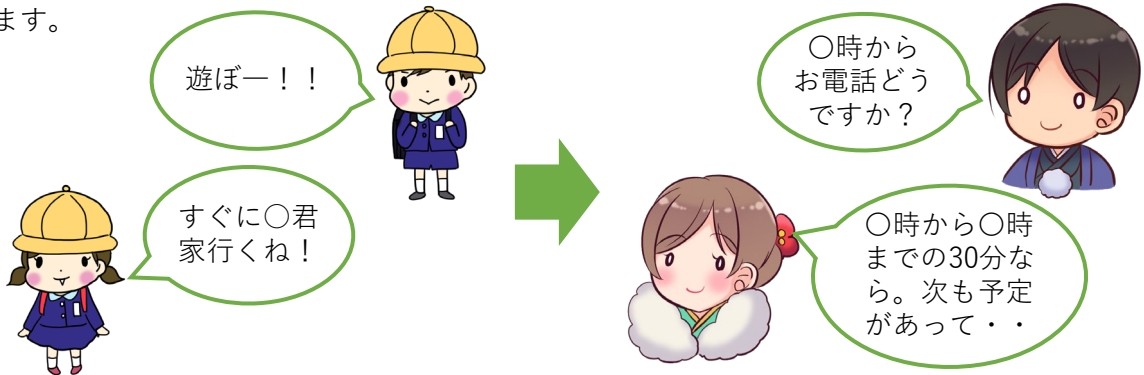
それにより、ユーザにとって本当に向き合いたいことが何かを見つけるサポートをします。

2 - 背景

小さい頃、人はスケジュール管理などせず、毎日その日の選択をしていたと思います。いつの間にか年を取るにつれて、時間を自分で管理するようになりました。しかし年を取れば取る程様々な場面や人との繋がりが増え、したいこと・しなければならないことが増えた経験はないでしょうか？人との繋がりは時に大いに良い影響を与えます。その反面、繋がりが増えれば増えるほど様々なしがらみも大いに増えてしまいます。そして、その時に、取捨選択ができる人もいればできない人が一定数存在するのではないかと考えております。

また、この背景にあるもう1つの要因がデジタル化社会の到来であると考えております。昔はスケジュールを脳の記憶という形や紙で管理していました。そのため、覚えられる量や書き込める量などに制限が存在し、詰め込みすぎるといった状況は比較的発生しづらかったと想定します。しかし現在ではデジタル化の影響でスケジュールアプリに無制限に記入することができます。これによって取捨選択の機会を減らしているのではないかと考えます。

そこで、私たちの考えたアプリではスケジュールの数や評価であったり、個人の性格特性のデータを自動で分析することにより「過密さの減少」をする機会を提供します。それにより、ユーザにとって本当に向き合いたいことが何かを見つけるサポートをすることを考えています。



3 - 目的・ターゲットユーザ

私たちは入力されたスケジュールから現在とは異なるスケジュールの提案を目的とします。本提案ソフトウェアによって、客観的な提案を提供やシミュレートし、ユーザが本当にしたいことを見つめなおすサポートをします。

主に、セイコー時間白書2020(※1)を参考にし、働いており時間に追われていると感じている60.7%のユーザ(図1)や友人との待ち合わせでは「前もって時間、場所をきっちり決めて集合する」と回答している68.9%のユーザ(図2)に対して本アプリは有効的であると考えます。普段から時間に追われ本当にしたいことをできているか考えられていないユーザや予定をしっかりと詰め込んでしまうユーザに対して非常に魅力的なサービスであると考えているためです。

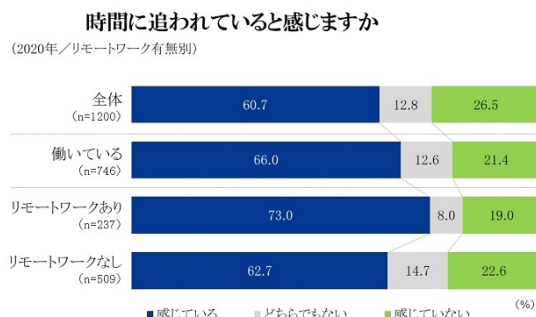


図1: 時間に追われていると感じていますか？

友人との待ち合わせの仕方

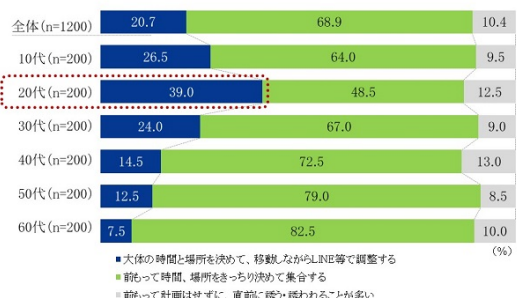


図2: 友人との待ち合わせの仕方

※1 SEIKO, セイコー時間白書2020, <https://www.seiko.co.jp/timewhitepaper/2020/detail.html>

4-提案内容

「スケジュールアプリ : Ques Schedule」

Ques Scheduleでは、通常のスケジュールアプリに加え、「スケジュール削除の提案と実行」「個人特性に合わせたメンタルチェックや性格分析」「本当に向き合いたいことに必要な行動やスケジュールの提案」「スケジュール量の定量化・グループ化」という4つの機能を追加したものになります。

本アプリは、単なるスケジュールアプリではありません。個人の性格特性や本人自身も認識のしていない限界を判断し、適切なスケジュールを提案・削除できます。

私たちは、数多くの現在を混ぜ合わせ、スケジュールに追われている人の「過密さ」を提案や選択・シミュレーションをすることによって、減らしていけると考えております。

・スケジュール削除の提案と実行

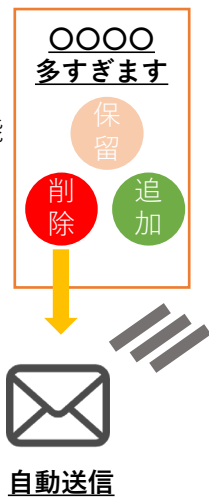
- 満足度や回数に対して当該予定が過剰であると判断した場合に提案(強弱有)する機能
- 個人の性格やメンタルチェックに合わせた、限界を個別に設定し、それに合わせて削除の提案を行う機能
- 予定のキャンセル時にbotを用いた自動送信メールや自動メッセージを作成する機能

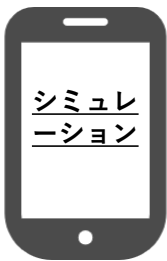
・個人特性に合わせたメンタルチェックや性格分析

- 初期状態ではデフォルトのパラメータが設定されており、パラメータの変化によりスケジュール削除の度合いや提案時の方法などを随時変更する
- 自身が過密であることを認識していない人に対するメンタルチェック機能
→出来る人なのか出来ない人なのかを判断することが可能
- 性格分析を行いそれぞれの能力に合わせたパラメータ設定を行う

・本当に向き合いたいことに必要な行動やスケジュールの提案

- 現在の予定を今後も続けた場合にどのような未来になるかシミュレーションする機能
- 本当にしたいことに必要な行動の提案







今のように毎日残業し結果を残すために仕事をし続けると・・・



自分の時間を大切にしながら、1日30分程度プレゼンの練習をしていると・・・



体調を崩し場合によっては入院するでしょう



重要な商談のプレゼンで結果を出せるでしょう

・スケジュール量の定量化・グループ化

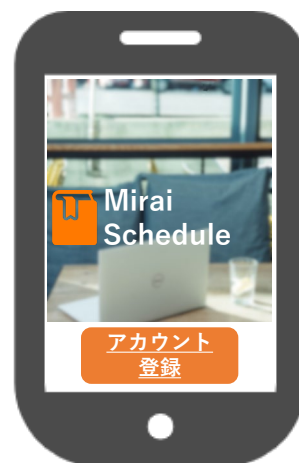
- 各種グラフや表を用いてスケジュール量や満足度を可視化する機能
- 同じ行動をするスケジュールは負担が減るので一括でグループ化する

内容	カテゴリ	評価値
営業	仕事	5.0
読書	個人	10.0
料理	家庭	30.5

5 – 起動方法

1. アプリケーションをインストールし、アカウント登録をする

スケジュールアプリに必要なアカウント情報に加え、簡単な性格診断や職業などを登録することでより正確なQuesサポートのデータとして活用する。



2. 他のスケジュールアプリを同じようにスケジュール登録や

リマインド通知・リマインダーツールなどを設定し使用する

3. 毎日の全予定終了時に通知で各予定の評価を行う(未回答可)

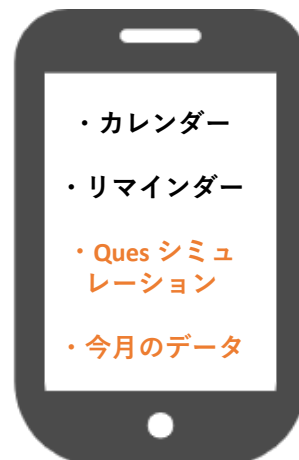
基本的な使用方法は他のスケジュールアプリと同じになっています。ただし、約300種類あるカテゴリから1つ選択して予定を作成する必要があり、カテゴリによって分析されます。また、満足度の数値の1つとして毎日の予定終了時に今日の予定の評価をユーザに行ってもらえるようにするが、未回答でも問題はありません。



4. 1,2か月使用していると、アプリケーション側から削減提案

やシミュレーション・スケジュールの可視化が行えるようになる

4-提案内容で説明した、各種機能を使用することができるようになります。これによって、ユーザの不要・必要な予定の提案やいくつかのQuesシミュレーション・データを図で確認することが出来る。この機能はデータ量が多ければ多いほど正確な分析結果になる。

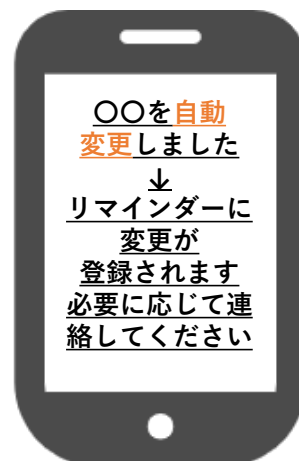


5. ユーザが判断し、必要に応じて自動で予定を変更する

連絡が必要なものもあると思うので変更結果は全てリマインダーに自動登録されます。また、連絡についても自動で行ってくれるbot等を活用することもできます！

6. 3~5を繰り返す。

2回目以降は設定により提案は解除できるようになっています。これは、ユーザによっては最適なQuesになった場合が考えられるためです。ただし、データ分析は自動で行われます。



6 – 今後の展開

- 予定に登録されていない行動も分析データに加える機能の追加

SNSやブラウザ、動画閲覧サイトなどの使用時間や、音声認識から何をしているかを推測し分析データに加えることで、より正確なスケジュールを提案できるのではないかと考えます。



- 匿名で他者の予定をお互い共有する機能の追加

大まかな枠組みの予定に自動変換された状態で予定をアップロードすることで、自分の予定と他者の予定を比べることのできる機能。職業などの入力欄を登録時に用意することで、同じ職業や目指す職業のユーザがどのような毎日を送っているか互いに知ることのできる機能は非常に面白いと考えます。



7 – さいごに

このアプリのどこに混ぜると消える要素があるのかと思われる方もいると思います。このアプリは「予定やその評価から、最適な選択を提案してくれるアプリ」ですが、それは「全ての予定」を「混ぜること」で最適な選択を提案し、人の「スケジュール過密」を消すサポートをしているといえるでしょう。

対して、元より時間に追われるようなことはなく、常に自分のしたいことに一直進されている方もいると思います。しかし、その選択は100%正しいものと言えるのでしょうか？人生の流れに任せて選択したものではありませんか？そういった問いかけにもこたえることが出来るのがこのアプリであると考えています。「スケジュール過密」を消すだけでなく、生み出すことが出来るのもこのアプリの1つの特徴です。

そして、私たちはこのアプリを通じて、1人でも多くの人が後悔のない選択をできるようサポートしたいと考えています。後悔のない選択は自分自身が行わないといけけないもので、私たちが出来るのはあくまでサポートです。しかし、自分と向き合う時間が少なくなった現代では貴重な機会を生み出せるのではないかと考えています。

ぜひ、皆様も自分の未来を見つめなおすような感覚でQues Scheduleを使ってもらえたら光栄に感じます。

- May tomorrow be a good day also. -